

会報 長事研

長与町立長与小学校内
発行責任者 上戸 健
2014(H26)年3月20日発行

全事研セミナー・評議員会開催

2月14日に神奈川県川崎市の川崎市教育文化会館大ホールで全事研セミナーが、全国から1200名の事務職員が参加し開催されました。前日からの大雪の中、会場は参加者の熱気に包まれていました。長崎県からは17名の参加者がありました。また、前日の2月13日には同じく川崎市教育文化会館大会議室で全事研評議員会・実務報告会が開催されました。全事研評議員会・実務報告会には、上戸会長が参加しました。

また、長事研では、3月7日長崎市の市民会館で第3回理事会第2回評議員会が開催されました。会では、長事研の本年度活動の総括と来年度に向けて活動の柱や計画について活発に議論が交わされました。

《全事研セミナー》

開会式は、横山会長の昨年夏に開催された全事研石川大会が成功裏に終わったことの報告と感謝の言葉で始まりしました。文部科学省大臣の祝辞（代読）の中では、地域からの支援が必要となっている学校の中で、事務職員に期待するところは大きいとの言葉がありました。

セミナーは、次のような内容で開催されました。

- ・講演Ⅰ：文部科学省行政説明
講師 文科省初中教育局財務課長 池田貴城 氏
H26年度文科省関係予算政府案について
- ・講演Ⅱ：「地域とともにある学校づくりと人材育成」
講師 公共経営研究機構 関山祐介 氏
- ・講演Ⅲ：「学校組織を活性化する人材育成の在り方」
講師 鳴門教育大 教授 久我直人 氏
- ・全事研活動報告 全事研 副会長 鳥本安博 氏
事務局、財務部、情報推進部、研究開発部各部の本年度の活動報告がおこなわれました。また、第7次研究中期計画の報告とともに、次年度から始まる第8次研究中期計画の取り組みについて説明がおこなわれました。その中で、第46回全国研究大会以降第50回大会までの大会テーマが確認されました。テーマは、下記のとおりです。
第46回静岡大会「人材育成」
第47回熊本大会「カリキュラム」
第48回山形大会「学校ガバナンス」
第49回京都大会「地域協働」
第50回千葉大会（周年大会とする）「学校組織開発」

全事研セミナーの内容について、全事研会報第215号で広報される予定です。本号は参加者の感想を紹介します。

<参加者感想>

- ・帰りの飛行機が気になりながらの参加でした。毎年参加していますが、とっても充実した研修会だといつも感じています。参加者の熱心が伝わってきます。
- ・長崎では、全国的な先生のお話はなかなか聞く機会がないので、このセミナーを楽しみにしています。刺激を受けます。
- ・全国的な研修会に参加すると全国には多くの事務職員がいることをあらためて感じます。いろいろな県のことをもっと知りたいなと思います。

・講師の方々の講演は、とても興味深く拝聴することが出来ました。しかし、いざ自分自身のことを振り返ってみると、実際に明日から何が出来るとか自信がなくなります。それが最大の問題かも。何かを変えなくてはと考えるのですが。

《全事研評議員会》

議事：平成25年度全事研石川大会決算報告
平成26年度暫定予算案について
平成26年度全事研静岡大会について
その他

全事研石川大会の報告では、1956名の参加者があり成功裏に終わることができたとの報告と感謝の言葉が大会実行委員長から述べられました。また、予定より多くの参加があったために、発表支部研究補助金も大幅に増額することが出来た等の決算報告がありました。今夏開催予定の静岡大会に関しては、2200名の参加者を予定した予算書の提案があり、石川大会の決算報告とともに承認されました。

〈実務報告会〉

「地域とともにある学校づくりと学校事務」

徳島支部 赤松梨江子 氏

氏が所属する東みよし町で、コミュニティースクール連絡協議会でコーディネーターとして活動されている様子が紹介されました。会の中心となって活動されている氏の活躍に学校事務職員として新たな可能性を見いだすことが出来るのではないかと感じられる講演でした。

《長事研第2回理事会第3回評議員会》

本会は、本年度の長事研の活動のまとめとなるものです。今回は、参加者から活発な意見が出され来年度に向けて大変参考になるものでした。

会は、会長より本年度は新しい活動が出来たのではないか、そしてその挑戦を次年度も続けて行きたいとの挨拶がありました。

〈協議事項〉

- ・第14回長事研セミナーの反省
- ・次年度役員体制について
- ・次年度長事研セミナー、総会のあり方について
- ・次年度事業報告について
- ・特別委員会報告について
- ・その他

参加者のアンケートの結果については、概ね好評でした。しかし、開催日については、旅費の支給日と重なり一部適当ではなかったとの意見もありました。また、日渡先生の講演は、好評だったとの結果でした。アンケートでは、多くのご意見を頂きました。今後活動の参考にさせていただきます。ありがとうございました。詳しいアンケート結果は、各支部長へ報告しています。

次年度セミナーと総会については、本年度同様同じ日に開催する方針が示され、理事、評議員から了承されました。そして、6月27日(金)長崎市のチトセピアでの開催に向けて準備をおこなうことが確認されました。

次年度に向けて、調査の充実を図ることが提案されました。特に長崎県における学校事務職員の年齢構成の資料を作成するために、年齢の調査を実施したいとの提案があり、次年度に実施することになりました。4月以降調査をおこないますので、支部長さんを中心にご協力をお願いします。

先般、スクールビジネス研究会シンポジウムの開催について調査をさせていただきましたが、6割程度の方から参加の意思を示していただきました。大変有意義な会であり、貴重な機会となると思われます。長事研として、開催に向けて全面的に協力していくことが確認されました。なお、開催は、長事研セミナーを予定している6月27日(金)の翌日の28日(土)長崎市茂里町の長崎県総合福祉センター5階大会議室で予定されています。

次年度会長、監査候補の選考委員に生越(西彼支部)小森(長崎支部)西村(北松支部)各評議員が選ばれました。

〈特別委員会の活動状況〉

ご存じのように2015(H27)8月に開催される予定の全事研熊本大会に向けて、研究推進のために設置された特別委員会の活動が昨年6月から本格的に始まりました。

今号では特別委員会の活動についてお知らせいたします。

- ・第1回 2013(H25)年6月29日

11名の特別委員会メンバーが顔を合わせました。会長は「大変な二年間になるだろうが、この研究が長崎県の学校事務職員の役に立つものになると思うので、ともに頑張りましょう」とあいさつしました。その後、熊本大会までのスケジュールイメージや今後の特別委員会の進め方について確認を行いました。

- ・第2回 2013(H25)年7月15日

上戸会長より、教職員課、大村市教委、佐世保市教委に対して、特別委員会に参集するための勤務の態様や研修会場の利用について等の支援要請を行い、快く承諾していただいた旨の報告がありました。第2回より本格的な研究が始まりました。「長崎県の学校事務の未来像」についてみんな

で考えていくために県下の多くの学校事務職員の思いや意見を集めるためのアンケートをとることにしました。

- ・第3回 2013(H25)年9月13日

県下すべての学校事務職員にアンケートを配付することにし、アンケートの作成を始めました。

- ・第4回 2013(H25)年10月25日

アンケートの質問項目の検討を行いました。

- ・第5回 2013(H25)年11月22日

アンケートの文言や表現など内容の細部にわたる検討やアンケートの配付や回収の方法を話し合いました。

- ・臨時 2013(H25)年12月6日

12月中にアンケートを配付するために、今回を含めてあと2回ほど集まる必要が出てきましたので、臨時に集まることになりました。アンケートの内容の最終確認を行い、アンケートを完成させました。印刷の割振り等も行い、次の会で持ち寄ることになりました。

- ・臨時 2013(H25)年12月17日

この会ではアンケートを送付するための作業を行い、12月中に発送を完了しました。

- ・第6回 2014(H26)年2月25日

2か月ぶりの会では、アンケートの回収が終わり今後の作業の進め方について協議しました。分科会の指導助言者を誰にお願いするのかそろそろ決めなければという話もありました。

第1回の特別委員会から9ヶ月の間に8回の会を持ちました。基本的に13時30分から16時30分までの計画で研究活動を行っていますが、毎回時間がオーバーするほどの熱い協議をしています。これからはみなさんから答えていただいたアンケートの分析や考察を進めていくこととなります。また、今後「特別委員会だより」を作成し特別委員会の活動報告をおこなう予定です。

最後になりますが、特別委員会アンケートに快くご協力いただき感謝申し上げます。ありがとうございました。(担当者)



〈会報連絡先〉

〈会報連絡先〉大村市立西大村小学校：田平毅

TEL 0957-53-2670 FAX 0957-53-2671